

慶應義塾の昭和二十年

慶應義塾の昭和二十年

KEIO 1945

慶應義塾と戦争 III

Keio and World War II: Exhibition III

第一会場

空襲、戦死、終戦

慶應義塾図書館展示室

2015年6月1日[月] - 8月6日[木] 9:00-18:20 [土のみ 16:50・日祝閉館]

第二会場

疎開、動員、占領

慶應義塾大学アート・スペース

2015年7月1日[水] - 31日[金] 10:00-17:00 [土日祝閉館]

二十年

昭和20(1945)年、慶應義塾の塾生は、陸海軍に、勤労働員に、疎開に、散り散りとなりました。教職員は、時局に対応しながら、教育研究の継続に苦悩しました。義塾関係の戦死者は2200名以上、全国の大学中で最大の空襲被害を受け、戦後は米軍が日吉を接收しました。本展では、昭和20年の「終戦」を前後する激流の中の義塾と塾生・塾員の姿を丹念に描き出すことを通して、戦争の時代を多角的に見つめ直す視点を提供したいと考えます。

主な出品資料

- ▽ 空襲で焼失した大ステンドグラス破片
- ▽ 回天特攻戦死塾生の音声
- ▽ 疎開幼稚舎生の手紙
- ▽ 勤労働員引率教員の手帳
- ▽ 農学部設置計画書類
- ▽ 米兵が撮影した日吉
- ▽ 軍学校出身塾生のアルバム
- ▽ マッカーサーと塾長の会見記録
- ▽ 戦犯塾員減刑嘆願書
- ▽ 特別出品：真珠湾攻撃に参加した塾員関係資料

関連イベント・ギャラリートークのご案内

※7月4日[土]、25日[土]はギャラリートークにあわせて第2会場を特別開館します

7月4日(土) 10:30・14:40 / 7月16日[木] 14:40 / 7月25日[土] 10:30・14:40 / 7月28日[火] 10:30

会場・開館日

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学三田キャンパス内
入場無料

第1会場 慶應義塾図書館展示室

9:00-18:20 [土のみ 16:50] 日祝閉館

第2会場 慶應義塾大学アート・スペース

10:00-17:00 土日祝閉館



JR 田町駅、地下鉄三田駅より徒歩約8分

お問い合わせ

慶應義塾福沢研究センター「慶應義塾と戦争」アーカイブ・プロジェクト

FAX: 03-5427-1605

fmc@info.keio.ac.jp

<http://project.fmc.keio.ac.jp/>

*関連資料を収集していますので、些細な情報でもぜひお知らせください。

主催

慶應義塾福沢研究センター、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館



1



2



3



4



5



6



7



8

- ① 接收中の日吉キャンパスでの米兵 (昭和23年、William Stewart氏提供)
- ② 回天特攻隊員となった塾生の出撃前の帰省写真 (昭和19年、塚本悠策氏寄贈)
- ③ 後楽園での早慶戦慶應側応援席 (昭和22年、五島雅子氏寄贈)
- ④ 焼け落ちた三田の図書館ホール (昭和20年)
- ⑤ 修善寺に集団疎開中の幼稚舎生 (昭和20年頃、幼稚舎蔵)
- ⑥ 陸軍士官学校、特攻隊長を経て慶應に入学した飛行服姿の塾生 (昭和22年頃、堀山久生氏提供)
- ⑦ 三田山上への昭和天皇行幸 (昭和22年)
- ⑧ 静岡での勤労働員中の学生たち (昭和19年)